

決算報告書

平成26年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,389	5,480	91	(注1)
施設整備費補助金	413	543	130	(注2)
補助金等収入	300	349	49	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	34	34	0	
自己収入	19,506	19,614	108	
授業料、入学料及び検定料収入	681	665	△ 16	(注4)
附属病院収入	18,598	18,682	84	(注5)
雑収入	227	267	40	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	908	975	67	(注7)
引当金取崩	0	23	23	(注8)
長期借入金収入	729	692	△ 37	(注9)
貸付回収金	6	24	18	(注10)
目的積立金取崩	0	0	0	
計	27,285	27,734	449	
支出				
業務費	23,363	24,949	1,586	
教育研究経費	5,013	5,103	90	(注11)
診療経費	18,350	19,846	1,496	(注12)
施設整備費	1,176	1,269	93	(注13)
補助金等	300	349	49	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	908	917	9	(注15)
貸付金	79	72	△ 7	(注16)
長期借入金償還金	1,459	1,445	△ 14	(注17)
計	27,285	29,001	1,716	
収入－支出	0	△ 1,267	△ 1,267	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、退職手当支給の増、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う機能強化事業および教育改善事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が91百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、老朽対策等基盤整備事業の一部を前年度から繰越したことなどにより、予算額に比して決算額が130百万円多額となっております。

- (注3) 補助金等収入については、各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が49百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数が当初の見込みを下回ったことなどにより、予算額に比して決算額が16百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、上位施設基準の取得等による入院診療単価の向上などにより、予算額に比して決算額が84百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として学内駐車場収入、科学研究費補助金間接経費の受入れ増により、予算額に比して決算額が40百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人）及び民間からの受託研究や寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が67百万円多額となっております。
- (注8) 退職手当の支給に伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、23百万円を計上しております。
- (注9) 長期借入金収入については、基幹・環境整備において当初計画よりも契約金額が下回ったため、予算額に比して決算額が37百万円少額となっております。
- (注10) 貸付回収金については、本学独自の制度である奨学資金回収金の増により、予算額に比して決算額が18百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、図書館の増改築に係る工事費の増等により、予算額に比して決算額が90百万円多額となっております。
- (注12) 診療経費については、採用者数の増加や病院玄関棟改修工事に伴う設備費の増加及び電気・ガス料金の値上がり等により、予算額に比して決算額が1,496百万円多額となっております。
- (注13) 施設整備費については、（注2）（注9）に示した理由により、予算額に比して決算額が93百万円多額となっております。
- (注14) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が49百万円多額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注7）に示した理由により、予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。
- (注16) 貸付金については、学生への貸与が当初の見込みを下回ったことにより、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。